

# てこな・ミュージック・ジャーナル

## 新人演奏会 オーディション

市川市文化振興財団では8月末から9月初旬にかけて、新人演奏会オーディションを開催します。若手演奏家の登竜門として注目され続け、今年で20回目となる伝統あるオーディションです。ピアノ、ヴァイオリン、声楽、管打楽器部門があり、各部門で最優秀賞に選ばされると、市内各所での財団主催のコンサートに出演の機会があたえられます。

### ピアノの課題曲、練習曲とソナタ

管、打楽器、弦楽器はその種類の多さ、声楽も声域が分かれているため、課題曲があるのはピアノだけで、ショパンの練習曲作品10から一曲と、ベートーヴェンのソナタからの一楽章を選び、演奏するように指定されています。

### 練習曲がなぜ課題曲に？

ピアノを弾き始めた人が最初に手にする楽譜の一つがバイエルです。明治政府が日本の近代化政策の一つとして西洋音楽を取り入れ、音楽家養成の基盤を作るため1879年に創設した機関が、音楽取調係です。翌年、ピアノとともに輸入された楽譜の中にバイエルがありました。でもこれはあくまでも初心者向けのものです。バイエルの次に手にすることになる練習曲集にチェルニーがあります。チェルニーはベートーヴェンの弟子で、後にリストの先生となりました。若い頃から本当にたくさん生徒を抱え、一日中レッスンを明け暮れ、その合間に作曲。すべてのジャンルにわたる作品を作りましたが、中でもピアノ練習曲が多く、その総数たるや膨大です。＜100番練習曲＞＜30番練習曲＞＜40番練習曲＞＜50番練習曲＞と進み、このあたりで、ショパンの練習曲が弾けるようになります。

### 演奏会曲目になる練習曲

練習曲でありながら、演奏会曲目になっているものは、本当に少なく、その例外的な作品がショパンの練習曲集です。演奏技術はもちろん、そこに音楽性が加わって、やっと曲を把握できていると認められる内容の作品が並んでいます。ショパンは練習曲集を二つ書いています。作品10と25で、それぞれは12曲から成りますが、中でも作品10は、一曲ずつが非常にまとまりよくできていて、それでいて表情はさまざまです。例えば1番は分散和音でダイナミック。3番は別れの曲と呼ばれ4番は情熱をほとばしらせるといったように、いずれも色彩と内容に富んでいて、隣り合った曲の雰囲気はまったく異なっています。どれも

市川市文化振興財団 文化芸術専門員 小坂 裕子

似通ったものは一つとしてなく、一曲だけでも、組み合わせせても、非常に個性的な演奏会用レパートリーとなります。技巧と表現力を鍛えることが求められるため、課題曲にショパンのエチュードが選ばれているのです。

### ベートーヴェンのソナタ

ソナタとは楽曲の形式名称です。主題を二つ提示し、それを展開し、また再現するというのが基本的な形式です。他の作曲家ももちろんソナタを作っています。ではなぜベートーヴェンが指定されているかと言いますと、その内容の濃さからだと言えましょう。第一主題、第二主題は形式的にも内容的にも非常に堅固で、深い音楽性が求められる難しい作品ばかりです。構造は非常に緻密で、まさにソナタ形式としての一貫したまとまりと重厚感にあふれています。

### 選曲の難しさ

ベートーヴェンのソナタであれば、楽章の選択も自由です。でもどのソナタであれ第一楽章を選ぶ方ばかりです。ただ不思議なことに、中期のソナタ＜熱情＞作品57を演奏曲目に選ぶ方が少なからずいます。感情の大きな起伏を表現できるので好まれるのかもしれませんが、音の波におぼれないように、まとめ上げるのは大変です。一方、分散和音が特徴的な第1番に始まる初期のソナタは、技術的には易しく思えるところがあっても、決してそうではありません。複雑な要素が絡まって、奥深い音響空間、まさにゆがみのない芸術作品が、楽譜の背後で演奏によって形を与えられるのを、息を潜めて待っているかのようだからです。

### オーディションは公開です。ぜひどうぞ。

さて他の部門のことも少しお話ししましょう。弦ではヴァイオリンが多いのですが、必ずといっていいほど演奏される曲に、イザイの無伴奏ヴァイオリン・ソナタがあります。声楽ではオペラのアリアも、日本歌曲もとさまざまです。今年は例年になく、マリリンバなど打楽器の方も数人います。持ち時間は10分にも満たないので、たった一度のチャンスで実力を出すという緊張感には大変なものがあると思います。ですから、各部門で優秀賞を取ると、その後、音楽の世界で羽ばたく方が多いです。ヴォーカリストとして世界的に名高い川本嘉子さんは第一回の最優秀賞受賞者です。その他、オーケストラに入団する方、共演に選ばれる方など、多彩な才能が、毎年このオーディションを経て、全国に羽ばたいて行きます。ぜひ聴衆として、オーディション会場にいらっしやいませんか？詳しくは当イベント・ガイド、小ホールページをご覧ください。